



冬来たいなば…

二十四節気の最終節「大寒」が近づいてきました。1年で最も寒さが厳しく、日本全体が冷え込む時期です。地域によっては、大雪に見舞われたり、流れる滝が凍りついたりもします。北海道旭川では、1902年1月25日、気温マイナス41度の記録もあるそうです。

真冬の寒さ厳しい時期ですが、『冬来たりなば春遠からじ』とも言われています。この厳しい寒さに耐え、乗り切ればうららかな春がやってきます。入試を控え受験勉強に頑張っている3年生、3月に都道府県大会出場の2年生、どの学年も緊張の毎日が続いていることと思いますが、今が頑張りどきです。

1/16の全校集会では、受験に向けてのスピーチや心構えを話し合い、冬来たりなば春遠からじ～If Winter comes, can Spring be far behind?をもとに、笑顔あふれる春に向けて、全員が健康に気をつけ、勉強に学校生活に頑張ろうと確認し合いました。

家庭で取り組む高知の道徳より

2
自然とともに 生きている

植物も動物も みんな、ともに生きている

身近な自然に 目を向けてみよう。

ふだん見なれている 田の中にも、よく見てみると、

自然のすばらしさや、ふしぎさを たくさん みつけられることがある。

わたしたちは 大いなる自然の あらゆる生命のめぐみの上に 生きている。

わたしたちは 大いなる自然から 生きる力を もらって 生きている。

お知らせ

1/18(水)午後、四万十市一校一役教育研究実践交流発表会が行われます。本校は「ふるさと教育」の取組を中心に田植えや稲刈り、しゃくり漁等の体験活動の様子を発表します。

生徒は給食終了後、学活で放課です。スクールバスは13時15分出発です。

2年生が団体の部入選を受賞した「第39回わたしの自然観察路コンクール」の応募作品が主催団体のホームページに掲載されました。

地域の豊かな自然を誇りに思い、それを慈しむ気持ちに満ちた作品です。

次ページにてご紹介します。

